

## 横田久世さんを招いての講演会



11月14日(木)、横田久世さんをお招きして「命の教育講演会」を行いました。

横田久世さんは、2018年、突然、電撃性紫斑病を発症され、10日の意識不明後、意識を取り戻すも両指、両足を切断することになり、身体的ハンディを背負われました。術後は、ショックで泣いてばかりいた横田さんですが、障がい者であっても元気に頑張っている姿を皆に見てもらおうと考え、「熊本城マラソン」への出場を決意されます。段階的に距離を伸ばし、1回目で22km、2回目で30km、3回目で見事、完走を果たされました。現在、書道の作品づくりをはじめ、児童生徒や保護者向けの講演会を行われています。

講話の中で3つの大切なことを話されました。①自分で決めること、②素直になること、③感謝すること、の3つです。

### 【①自分で決める】

親から「勉強しなさい。」と言われると嫌な気持ちになるし、やる気なくなる。自分で目標を決め、そのためには何をすべきかを考えて行動すると頑張れる。急に無理な目標を立てると続かないので、自分のペースでやるのが大切。

### 【②素直になる】

自分が悪かったときには「ごめんなさい。」と素直に言えることが大切。自分が知らない間に人を傷つけてしまうことがある。言われた方は覚えているけど、言った方は覚えてないことがある。素直に謝れる人になってほしい。

### 【③感謝する】

何かしてもらったときに”ありがとう”と言っていますか。昔、「自分が頼んだわけでもないのに、何で『ありがとう』という必要があるの。」と思っていた時がありました。これから先、社会に出て、思うようにいかないことがある。そんなとき、誰かが救ってくれる。日頃から、ありがとうございますと言えらる機会を増やしてほしい。

最後に、人を大切にするためには、まず、自分を大切にすること。自分の心が満たされていないと人に優しくできないと話されました。一中生の皆さんには、自分なりの目標を持ち、自分のペースでいいから、毎日、コツコツと前に進んでほしいと思います。横田久世さん、ありがとうございました。



## 授業参観 & 懇談会 お世話になりました

11月21日(木)に行いました「授業参観」「学級・学年懇談会」に多くの保護者の方に参加いただきありがとうございました。教室が狭く、廊下でしか参観できない方も多数おられて申し訳ありませんでした。保護者の参観も多かったことから、生徒も普段以上に張り切って授業に参加していたようです。

1年生の懇談会は学年で行われ、学校での生活の様子、来週の宿泊教室、来年度の修学旅行についての話がありました。

2年生は学級ごとに行われ、学校での生活の様子、12月の修学旅行についての説明があり、その後、親の学びプログラムで意見交換が行われました。

3年生は学年全体で、親子そろっての進路についての話がありました。ご多用な中、来校いただき、ありがとうございました。三者面談もよろしくお願ひします。

